

きほく
鬼北町

議会だより



目次

- P2 鬼北町議会体制
- P3 ペタンク大会に参加して
- P4～ 議員の窓
- P17～ 町民の声
- P18 住民懇談会を終えて
- P19 中学生議会見学会
- P20～ 議会活動報告
- P22 編集後記ほか

第4号
令和5年3月

鬼北町議会体制

令和4年の鬼北町議会の体制は次のとおりです。



芝 照雄 議長



赤松俊二 副議長

委員会

総務産業建設 常任委員会	厚生文教 常任委員会	予算常任委員会		議会運営 委員会	議会改革 特別委員会
◎松下純次	◎高橋聖子	◎山本博士	末廣 啓	◎松浦 司	◎程内 覺
○中山定則	○山本博士	○福原良夫	松下純次	○福原良夫	○松浦 司
坂本一仁	福原良夫	坂本一仁	程内 覺	高橋聖子	兵頭 稔
兵頭 稔	程内 覺	兵頭 稔	松浦 司	山本博士	高橋聖子
末廣 啓	松浦 司	高橋聖子	赤松俊二	松下純次	末廣 啓
赤松俊二	芝 照雄	中山定則	芝 照雄	程内 覺	赤松俊二

◎は委員長、○は副委員長

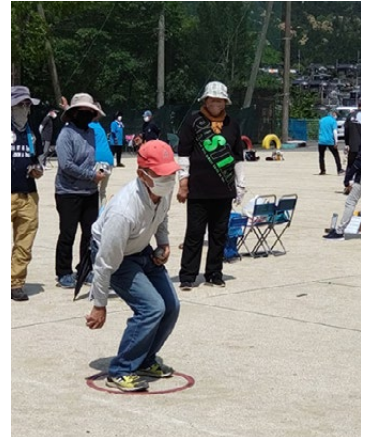


ペタンク競技大会に参加して

兵頭 稔

第28回日吉ペタンク連盟会長杯ペタンク大会に町議会として参加を要請され、令和4年5月8日、3チームで参加することになり、私はペタンク競技の方法ルール等を知らないもので、5月8日の大会までに、地元の協会メンバーに交じって数回練習することができました。大会当日は快晴に恵まれ25チーム（松山市、伊方町、宇和島市、四国中央市等から）の参加で盛大に行われました。私たちのチームは、予選2試合行い1勝1敗の結果でした。

このペタンク競技とは、1910年に南フランスの港町で生まれ、日本で最初に普及したのは1970年とされています。1988年第1回ねりんピックの各種スポーツの一つとして取り入れられました。鬼北町にペタンク協会が設立されたのは、1994年12月20日に旧日吉村であり、毎年全国大会に参加し優勝したこともあると聞きました。私は何も知らないで参加しましたが、ねりんピック笑顔のえひめ2023大会の種目ペタンク大会が、この鬼北町で開催されると聞き、日吉ペタンク協会の皆様が優勝できるよう応援していきたいと思っています。



ねりんピック笑顔のえひめ2023

(令和5年10月28日～31日)

ペタンク競技が鬼北町で開催されます！

令和5年10月29、30日

場所：鬼北総合公園多目的広場



議員の窓

コロナ禍での地域活動



坂本 一仁

ここ数年、コロナ禍で町民の皆さんも行動制限等、不安であったり、不便な思いをされているでしょう。私自身も皆さんと同じ思いで日々生活しています。そしてまん延防止対策等で行事、会議、懇親会等が制限されて、地域力が低下しているのが現状で、コロナが収束しても、この数年の影響で、今まで培われてきた事を取り戻すには容易ではないと思われれます。現に地区民祭も、「もうやらん

てもいいいわえ、無い方が楽やけん。」という話をお聞きし、切ない思いになりました。そういった思いもあり、これまで以上に社会活動に参加し、地域活性化に少しでも連携協力させていただきたいと思っています。私の住んでいる好藤地区には、いきいきクラブ、ピーチパイ、Y



〈竹の子学級といきいきクラブ合同餅つき〉

YC（好藤ヤングクラブ）、それ以外にも好藤地区放課後子供教室、好藤地区子ども達の見守り隊があり、暖かい気持ちで地域を支えてくださっています。

仕事の傍ら、農作業の傍ら、本当にありがたい事だと思つとも感謝の気持ち

ちでいっぱいです。しかし、そういった活動もコロナ禍の影響で中止、規模縮小など、まん延防止対策を講じながら活動せざるをえない状況です。今回はそういった中で、今後の活動や地区に必要な考えを元YYC代表の坂本賢二さんと、子ども達の見守り隊の手島勤さんにお話を聞く事ができました。

まず、坂本賢二さんに現在の活動状況、今後について、お話を伺いました。

現在の活動は、ほぼなく唯一好藤公民館事業、竹の子学級（好藤小学校6年生）の安全指導員くらいで、その他の行事、事業等は中止になっているとのことでした。私達はそういった事業等に参加し、そして、YYC会員で懇親会を重ね、絆を深め活動してきた団体なので、懇親会ができない現在、会員の意識が低下し、今後の活動が心配だ、早くコロナが収束し、早く会員の皆さんと酒を酌み交わしながら、今後、より良い好藤地区になるよう語りたい、と話してもらいました。次に、手島勤さんにお話を伺いました。現在、コロナ禍ではありますが、ずっと見守り隊としてお手伝いさせてもらって



兵頭 稔

鬼北町の水道事業について

います。私は、吉波から好藤小学校まで、登下校に付き添っているのですが、吉波から東仲にかけ車両が制限速度以上のスピードで、非常に危険なので交通ルール、交通マナー遵守の意味も含めて出来る限り、見守り隊に参加し、少しでもお役にたてれば、とお話ししていただきました。そういった活動が、鬼北町の宝である子供達を守っていただいている事に感謝し、今後、一刻も早くコロナが収束し、以前以上に町民皆さん全てが、笑顔で幸せな日常を取り戻せる事を願うばかりです。

私は、鬼北町に在住して、3年が経ちました。38年ぶりに帰省して直ぐに感じたのが、水道料金が高松市に比べて異常に高いと思っただけです。なぜならば、香川県は水源になる大きな川がないので、徳島県の吉野川水系から阿讃山脈トネルを抜き水を供給しています。それなのに鬼北町より高松市の方が大幅に安いのです。この時に町議会議員に立候補して何とかしようと思ったのが議員になるきっかけです。議員になり1年目の3月定例議会で、水道料金が愛媛県で高い方から2番目になっていた件で一般質問を行ったが、町としては料金を下げる考えがないとの回答だった。水道法を詳しく読むと、水道法第1条で「清浄にして豊富低廉な水の供給を図りもって公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与することを目的とする」となっています。この中の低廉の意味は値段が安いこと、金額がすくないこととなっています。このことについて町長に何うと、「鬼北町の水道料金が安いという認識はない」と回

答されました。その理由は、路線が他の自治体と比較して長い設備が老朽化しているなどの理由を述べられました。それはどこの自治体でも同じ条件だと思われる。



〈鬼北町道路線の廃止・認定に係る現地調査〉

私が思うのは、広見町の時に平成8年〜13年に28億円の改修工事を行ったので、その時の債務の利息が1億1千万になり平成14年に経常利益が大幅な赤字になったので、当時の関係者が、料金水準（総括原価）の算定により、総括原価

＝料金収入総額に一致するように設定するよう指導されているが、前年までの赤字を取り戻すために、経常利益が出るように設定されたため、年々支払い利息が下がっていき、その分毎年経常利益が多くなり、その後広見町と日吉村が統合され鬼北町となります。経常利益が多く、

＝料金収入総額に一致するように設定するよう指導されているが、前年までの赤字を取り戻すために、経常利益が出るように設定されたため、年々支払い利息が下がっていき、その分毎年経常利益が多くなり、その後広見町と日吉村が統合され鬼北町となります。経常利益が多く、資本金も平成15年には4千9百万円だったのが、令和3年には13億余りになりました。水道法第14条第2項第1号に、料金が、能率的な経営の下における適正な原価に照らし、健全な経営を確保することができる公正妥当なものであること、となっております。この法律に規定する基準を適用するために、厚生労働省令で、水道法施行規則第12条第1項第4号で、料金が、おおむね三年を通じ財政の均衡を保つことができるよう設定されたものであること、となっております。この法律は誰のために作られているのか、真摯に受け止めていただき、早急に検討を行うべきと考えます。また、鬼北町民のことを思うと町民にやさしい料金にす

べきと思います。最後に町民の皆様のご意見を頂けたら幸いです。

三島ふれあいタクシー始動



高橋 聖子

三島地区の三島住人による三島住人のためのお出かけ支援「三島ふれあいタクシー」が令和4年12月より試験運行が始まり、1日、三島公民館で出発式が執り行われ、住民待望の「三タク」が走り出しました。

令和2年の初協議から3年10月準備委員会設立。住民アンケート・説明会を経て令和4年度三島地区住民輸送協議会

を設置、9月には名称を委員会発案の三島ふれあいタクシー運営協議会に変更し実現に向けて進んでゆきました。

企画から組織作り、車両の選定各方面の届け出他、企画振興課の担当の方々に助言、お骨折り頂き、この日をむかえました。

運転は三島地区の各部落から住民の有志13人が交代で行います。

顔見知りの人が運転手というのは、安心して利用ができます。

午前中は、北宇和病院、日吉診療所へ向かう便（往路のみ）、午後からは三島地区内のみでの運行の予定。

自宅まで送迎してもらえることで、今まで公民館の教室や、まとまった買い物にも気軽に行けるようになります。

町内初のモデル事業であり、令和4年度中は効果検証を行い、利用者の意見を基に三島地区独自の新しい公共交通を実現し、住民が健やかに生き活きと生活できるようより身近なお出かけ支援サービスになればと思います。



中山 定則

史跡等妙寺旧境内保存整備 活用計画について



〈三島ふれあいタクシー〉

等妙寺旧境内は、旧等妙寺跡として地元で伝わる伝承や記録があり、古くから知られていました。

平成2年の現地踏査により遺跡の存在が確認され、平成6年度からは遺跡の試掘調査が始まり、平成20年3月28日、国の史跡に指定されました。

今年度、ガイドンス施設が完成し、間もなく一般公開となります。史跡の保存整備活用について、6月定例会で一般質問しました。

問 ガイドンス施設は今年度完成予定であるが、平坦部A、展望場、その他工事の進捗状況について問う。

答 平坦部Aは、令和5年度に案内板・解説板の設置を予定している。展望場は、令和2年度に2か所設置している。そのほか、トイレや休憩所の設置を予定している。

問 ガイドンス施設の管理運営方法、ガイドスタッフは揃っているか等について問う。

答 ガイドンス施設の管理運営方法については、施設や史跡を活かした取り組みの充実を図るとともに、施設の管理を行うため、地域おこし協力隊を募集し、配置することを検討している。ガイドンス施設は、史跡の活用を前提とした施設であり、史跡の維持管理・活用を含めた形での運営を考えている。そのため、今年度から、史跡等妙寺サポーター（仮称）を募集し、ボランティアガイドを養成するための講座を開催することとしている。



〈旧等妙寺跡〉

この遺跡が確認されてから30年が経過し、いよいよ一般公開になります。今後

も史跡等妙寺旧境内保存整備活用基本計画書により事業が展開されることで多くの町民が集う史跡となり、鬼北町の活性化につながるものと思っております。

公民館活動



末廣 啓

新型コロナウイルス禍で、行事・イベント等が中止、縮小、制限される中、愛治地区では11月5・6日の両日、「愛治ふれあい祭り」が自治会、公民館主催で開催されました。

今年度は、公民館生涯学習事業として、文化部門では11の講座が8月初めから10月末まで開催され、その中には牛鬼頭作

り、水引細工、絵手紙、クラフトバンド、ランプシェード作り、将棋教室、また生前整理教室等々、多種多様な講座が老若男女を問わず、地区住民を対象に開講されました。その学習成果を発表する様々な作品が、ふれあい祭りの中で展示されました。私も、ランプシェード作りに参加し、講師の先生から指導を受けながら四苦八苦して、満足の一品を製作することが出来ました。

また、リサイクルバザーも行われ、各家庭で眠っている新品又は新品同様の食器、タオル、電化製品、ベッドなどを安価で販売し来場者に喜ばれていました。

この両日は秋晴れの好天に恵まれ、町長、副町長、教育長はじめ、2日間で延べ400人程の来場者があり、作品鑑賞、俳句投票、バザーでの買い物、そして何より3回にわたる2俵のもちまき等、秋の一日を存分に楽しめたようです。

公民館では住民の健康保持・増進にも取り組まれており、運動会や球技大会が出来なかった代替に、卓球、モルック、

クロッキー、レクバレー、ゴルフ、ウォーキングの大会を企画・開催され、3B体操やヨガ教室は継続して行われていきます。

こうした公民館活動は住民の新しい事への挑戦意欲を駆り立てたり、再挑戦への気持ちを呼び覚ましたりすることで自己研鑽に繋がるのではないのでしょうか。そして、講座や大会に参加することで人と人が繋がり、そこには会話が生まれます。現在の新型コロナウイルス禍の中では家に閉じこもりがちなのも多く、人との出会い、会話、笑顔が少なくなっているのが現状です。その観点から、新型コロナウイルス対策を徹底した上での地区イベント開催は、大変必要なことだと思います。

来年度以降もワクワクするような講座等を企画いただき、大勢の方が参加され、さらなる住民のスキルアップそして繋がりが生まれることにより、地区全体に笑顔が溢れ、活性化し、地域力、組織力がさらに向上するものと思っております。

今後も地区住民の多くが潤うような公

民館活動を願ってやみません。



〈愛治ふれあい祭り〉

奈良山等妙寺



山本 博士

今回の議会だよりは、奈良山等妙寺住職、関秀圓和尚をご紹介します。

秀圓和尚は、奈良山等妙寺第四十三世住職です。佛敎大学仏敎学部仏敎学科通信敎育課程及び延暦寺学園叡山学院卒業。平成十二年六月より宇和島市三間町波岡の真殊山妙光寺住職をされながら、平成十三年より平成十八年まで三間町役場で勤務され、合併により、宇和島市役所で平成十八年から平成二十五年まで勤務されていきました。

平成二十五年四月より当山、奈良山等妙寺住職となり現在に至っています。

また、平成十年頃から平成十三年、平成二十年から平成二十五年三月末まで鬼北チグリーニョ(サッカークラブ)のコーチをされ、平成十七年頃から現在まで三間少年サッカークラブのコーチをされているスポーツマンです。

奈良山等妙寺 第四十三世住職

関 秀圓



〈伝敎大師二二〇〇年大遠忌記念特別展〉

「最澄と天台宗のすべて」への出陣について・・・菩薩遊戯坐像と両界曼荼羅

この度はこのような寄稿の機会をいただき、大変光栄に思います。

まず初めに、等妙寺について、簡単に説明していききたいと思います。等妙寺は元応二年(一一三〇)に天台宗で京都の法勝寺を拠点に戒律を復興した恵鎮円観(えちんえんかん)(一一八一～一三五六)

の孫弟子、理玉（りぎよく）によって開創され、元弘元年（一一三三）後醍醐天皇の勅願寺になり、相模宝戒寺（さがみほうかいじ）、加賀葉師寺、肥後鎮興寺（ひごちんこうじ）とともに法勝寺流円頓戒（ほっしょじりゆうえんどんかい）の伝戒場「遠国四箇戒場（おんごくしかかいじょう）」の一つとなりました。法勝寺流という重授戒灌頂（じゅうじゅかいかんじょう）という、天台宗で重要な授戒儀式を全国で当寺と他三ヶ寺の地方四ヶ寺に限定し、天台宗内で独自の立場を築いていたそうです。

天正十六年（一五八八）に火災により全焼したが、山麓の現在地に場所を移し江戸時代に宇和島藩伊達家の庇護を受け再興され、今日に至っております。また、旧境内地は山岳信仰の様相を伝える貴重な中世遺跡として国史跡に指定されています。

今回、伝教大師一二〇〇年大遠忌記念の特別展「最澄と天台宗のすべて」の開

催にあたり、当寺の秘仏である『菩薩遊戯坐像（ぼさつゆげざぞう）』と『両界曼荼羅（りょうかいまんだら）』を九州・京都両国立博物館の担当者よりお話をいただき、住職、総代会により協議の上、是非とも出展させてもらいたいということになり、出陳が決定いたしました。本来、菩薩遊戯坐像に関しては、六十年に一度の御開帳の秘仏であり本年がその年ではなかったのですが、伝教大師の一二〇〇年の御恩忌と等妙寺開創七〇〇年ということで特別に出陳ということになりました。

次に、出展された仏像と、両界曼荼羅について説明していこうと思います。

まず、当寺にご本尊「伝・如意輪観音像」として祀られている「菩薩遊戯坐像」について説明します。

寺では如意輪観音として信仰されており、立てた左ひざに仰掌した左手を置き、右足を踏み上げ、右手をついて頑丈にくつろぐ姿に作っており、このような座り

方を遊戯坐（ゆげざ）といい観音様の遊戯坐像は中国の宋から元時代にかけて流行し、日本でも鎌倉時代に鎌倉周辺の禅宗寺院を中心に作られたようですが、左足を立膝とする像はこの像だけだそうです。また、運慶や快慶に代表される慶派仏師の作品だそうです。

この「菩薩遊戯坐像」は特別展の目玉として、他の展示物とは少し離れて、展示室の中央に展示されており、来館される人々の注目を集めて、開催期間中は、SNSなどでイケメンな仏像として話題に上がるほどでした。



〈菩薩遊戯坐像〉
（伝・如意輪観音）

そのSNSの感想として、「これほどきれいなお顔をした仏像に出会ったことがない」、「イケメンすぎる」などのコメ

ントがあり、注目の高さを伺えました。本来は、等妙寺開創七〇〇年であった二〇二〇年（令和二年）に特別御開帳を当寺で行う予定でありましたが、コロナ禍ということもあり、西予市の愛媛県歴史文化博物館で特別展を開催するのみとなりました。本来であれば、町民の方々や檀家の方々にも見ていただきたかったのですが、残念で仕方ありません。

また、今回の出陳に際して、九州国立博物館で仏像のCTスキャンが行われ、仏舎利を納めた五輪塔が胎内佛として納められていることがわかり、新たな発見がありました。

次に、「両界曼荼羅」ですが、曼荼羅とは、密教の修法時にお堂に掛けたり、お堂の床に敷いたりする、仏様がたくさん描かれた軸のことを言います。真言宗で、部屋が九つに区切られた金剛界曼荼羅（こんごうかいまんだら）は有名ですが、当寺の金剛界曼荼羅は八十一尊曼荼羅といい天台宗独自の曼荼羅であり、真言宗の金剛界曼荼羅の中心の部屋の成身



〈両界曼荼羅〉
(左：金剛界・右：胎蔵界)

会（じょうしんえ）だけが描かれた曼荼羅で、室町時代の天文十八年（一五四九）に今城左衛門尉能光が当時の等妙寺の塔頭である智光院に寄進したもので間違いないそうです。この天台宗独自の両界曼荼羅は全国に四対ほどしか残っており、中でも、保存状態はほかのものに比べ、比較的良いそうです。

このように、この特別展に出陳された二点もそうなのですが、その他の寺宝に

健康について

関しても現在、鬼北町教育委員会や愛媛県、国の機関などの協力を得て、保存修理や研究、調査が進められており、新たな発見が今後も出てくることを期待していきたいと思います。

最後になりますが、今回、議会だよりの貴重なスペースをいただき、寄稿させていただいたことを感謝して締めさせていただきます。



福原 良夫

今回は、健康について考えてみました。と言うのも自分自身が2回も椎間板へ

ルニアになり痛い目にあつたからです、2021年12月に1回なり、今年9月に2回目になりました。

1回目も2回目も少しずつ痛みはあったのですが、入院する前の日はどうにも止まらない激痛がきて、1回目は夜中の12時頃救急車で市立病院に行き、その時はブロック注射をしてもらい帰りましたが、翌日また痛くなり、入院しました。12月はちょうど議会定例会の月でしたが、入院したために欠席をさせていただきますました。

2回目も、5、6月にかけて腰の痛みが少しずつあったのですが、あまり気にもせず仕事をしていましたが、8月30日



〈ペタンク大会にて〉

に激痛がきて、ブロック注射をして帰りましたが、9月1日にまた激痛がきて、今度は良いブロック注射をして帰りましたが、その時は注射が効いてすっかり良くなったと思いきや、家に着くとまた痛み出し、病院に入院といった次第です。この注射も結果的に2時間くらいしか効き目がなかったです。9月8日が手術日でしたが、痛みも少し収まってきたので少し様子をみながらと言われて、結果的に2週間待つことになりました。

22日午後4時から手術となりました。

その日は朝から食事はなし、お茶と経口補水液は感染症腸炎、感冒による下痢発熱、また脱水を伴う熱中症にもご利用くださいとのことでした。全身麻酔ですから、少し不安はありましたが、先生に任す以外にないのでから。でも、大丈夫です。7時頃には病室に無事に戻ってきました。でも、麻酔が戻った後の痛いこと。これは、手術をした人でないとわからないでしょうね。

椎間板ヘルニアとは、5個の腰椎が椎間板というクッションの役割をした軟骨で連結され、その後方が脊柱管と言われ、馬尾神経が入っています。椎間板が突出して神経を圧迫し、その部分に炎症が起こって腰痛、下肢痛を引き起こす病気が、次のようなものが考えられます。

①重労働 ②ヘルニア素因のある人 ③スポーツをする人 ④外傷を受けたことがある人 ⑤タバコを1日10本吸うと20%リスクアップ。

ヘルニアの再発率は、約5%と言われています。確実な予防策はありませんが、前の5つの事を守って、再発防止に努めていきたいです。

健康とは、睡眠、食事、運動など、賢く生活リズムを整え心身ともに充実の毎日を。町の健康診断も受けていきましよう。

議会報告



程内 覺

私は、令和4年6月議会及び9月議会において、一般質問をしましたので、そのことについて、議会報告します。

6月議会では、主に、小中学校について質問しました。私は子供達が成長していく過程では、ある程度の人数規模での教育環境も必要ではないかと考え、再編の必要性について質問しました。令和4年5月現在、日吉25名、三島38名、愛治14名、泉38名、好藤32名、近永200名、町内6小学校合わせて347名の児童、日吉中13名、広見中169名の生徒数の現状を思う時、現在の学校数のままでいいのかと考えますが、鬼北町学校適正規

模・適正配置検討委員会の学識経験者21名の皆さんで慎重に協議された結果、令和7年度に再検討するとの答弁でした。7年度にはどのような答申になるのか注目していきたいと思えます。



〈衆議院会館にて〉

9月議会においては、農家支援策、森の三角ぼうし、J R近永駅の3点について質問し、中でも今後予定されている近永駅舎改築に付随した関係の中で、現鬼北町には無い観光協会を立ち上げ、駅舎内で運営することはできないか質問しました。現状の観光案内は商工会や企画振興課内の町職員が担当し、ホームページ等で案内はしていますが、業務多忙の中、現地に足を踏み入れた案内等はありません。

きているとは感じません。

やはり、直属の部署を作り、観光振興を図り、観光客や交流人口増を考えるべきと考えます。町内には、まだまだ隠れた場所、誇れる所、人々がいると思います。町長の答弁では、観光事業者は必要不可欠で設立は急務とした上で、DMO（観光地域づくり法人）などを含めて組織の在り方などを検討していくとの答弁でした。

近永駅に関し、令和4年6月定例議会で上程されました、近永駅改築工事予算で、私は考えるところも多々あり、否決しました。

議会後、議長の計らいで、近永公民館で行われました住民懇談会では、参加された住民の皆さんから厳しい意見も多く頂きましたが、強い思いも感じることができ、食い違いもありましたが、懇談ができて良かったと受け止めています。

住民の皆さんも、我々議員も、鬼北町の玄関口になるJ R近永駅を起点として、鬼北町の活性化を目指す思いは全員同じと信じています。

鬼北町監査新体制 及び議員活動について



松浦 司

○ はじめに

鬼北町監査委員を務めております松浦司です。今回は新監査員の紹介をさせていただきます。

○ 新監査委員の紹介

鬼北町監査委員は、鬼北町長より任命され議会で同意された『識見を有する者』である代表監査委員と議会から選出の監査委員2名と議会事務局兼務の補助職員2名の計4名体制で、鬼北町の財政・事務処理等を精査し、各課の状況や毎月の現金の流れをチェックし、鬼北町の前年度決算が適正であったのかを確認する仕

事を日々行っています。



〈定期監査〉

鬼北町監査委員の任期は、4年と義務付けられており今年3月に任期満了を迎えられた上甲康夫氏が退任され、4月より新しく田中清志氏が着任されています。田中氏は、長年民間大手企業の経理畑でキャリアを積み、退職後は地元企業の会計等に携われ、手腕を発揮されているとお聞きしています。鬼北町会計の中には、企業会計も含まれており鬼北町の発展に貢献されるものと思います。

田中氏は、「監査の着眼点として」「業務の有効性及び効率性」「財務報告の信

頼性」「業務に関する法令等の遵守」並びに「資産の保全」が有効に機能しているか』について調査・審査が行われます。

○ 議員活動報告

去る、12月8日に開催された平成4年度12月定例議会において議員歴20年の表彰の栄に浴する事ができました。



〈四国地区町村議会議長会表彰
(議員在職 20年)〉

現在、6期目を務めさせて頂いていますが、過ぎてみれば20年は長い様で短く感じています。その間、鬼北町も大きく変化しています。旧広見町・日吉村での合併に始まり、空家の増加・商店街の空洞化・公共交通機関の低下など住民生活問題や働き口の減少・耕作放棄地の増大など産業基盤の問題が特に顕著となっています。急速な少子高齢化に伴い鬼北町

全体の人口の減少に歯止めがかからず、特に過疎地域等の条件不利地域においては限界集落に近づきつつあり生活維持が困難な地域が増加している状況を踏まえ、現状打破に向け貢献いたします。今後も驕ることなく、初心を忘れず、地方議員の使命である『鬼北町の政策を適切に精査し決定すること』『行財政の運営・事務処理及び実施状況を監視すること』『町民の意見を反映すること』を弁え行動し、鬼北町監査員又議員として、鬼北町発展の為に鋭意努力して参りたいと思います。

林業の振興について



赤松 俊二

本町は、総面積の約8割を森林が占めており、町内の民有林のうち、除間伐などの育林整備を必要とする森林は、1万2582haあり、それらは早急な森林整備が求められています。森林・林業の再生に向けた取り組みとして、新たな事業である木質バイオマス発電について9月定例会で一般質問しました。

問 木質バイオマス発電事業計画の進捗状況について。

答 木質バイオマス発電の計画については平成30年度から、企業誘致として事業化に向けた協議、検討を進めている。計画としては遅れ気味ではあるが、令和6年10月頃の稼働開始を予定している旨の説明を受けている。

問 町が行う側面的支援とは具体的にどのような支援なのか。

答 森林環境譲与税を活用し、町内の林業事業者および木材原木市場を対象として、令和2年度から、林業新規就業者支援事業を開始している。加えて、木質バイオマス燃料の安定供給につ

ながる林業機械等の整備に対する補助事業についても検討している。

問 燃料となる原料の安定的な供給システムの構築について協議しているのか。

答 令和3年には、「鬼北町木質資源有効利用協議会」の構成員と、木質バイオマス発電事業者との間で、「木質バイオマス燃料安定供給協定」が締結されている。

バイオマス発電事業は、地元雇用の増加や町内の森林資源の有効活用につながるなど、地域の発展に大きな貢献が出来る事業と考えます。また同時に地域で生



〈視察研修にて〉

み出すことのできるエネルギーであることが、これからの資源循環型社会にも繋がります。今後本町においてもその仕組みづくりを構築し、地域における生産木材の有効な活用を推進することにより、林業振興の起爆剤になることを願っています。

議長職にあたって



芝 照雄

町民の皆様には、日ごろから町政・議会活動についてご理解ご協力をいただいております事に心から感謝いたします。議長に就いてから今日までの活動等を報告致します。

まず初めに、コロナ禍の中皆様と同様に行動制限、感染症対策に悩まされた年でした。

その中でも印象に残った事は、やはり全国の議長、副議長が集う会があり、議員の資質向上、議長としての責任、行政と議会との調整役としてのあり方について学んだことです。

令和4年11月に行われた第66回町村議会議長全国大会では、三つの特別決議が行われ、満場一致で可決されました。

その中の一つに、地方議会の位置付け、地方自治法の改正がうたわれていました。

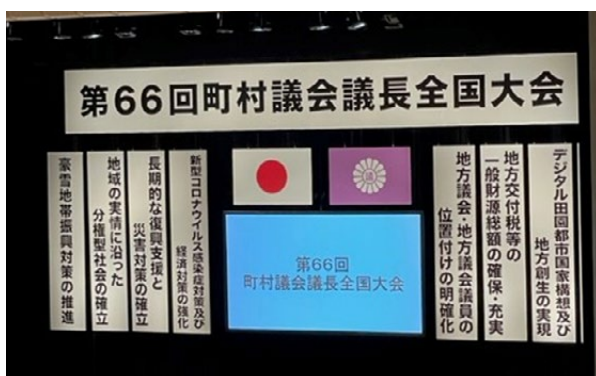
鬼北町議会でも、先輩議長さんからの引き継ぎもあり12月議会で議会改革に着手すべく議会改革特別委員会を設置し、約1年間をかけて、調査・審査する事と致しました。

また開かれた議会として、11月下旬に行いました中学生との模擬議会では、中学生による議場での議会体験をして頂きました。

生徒からの質疑等もあり充実した時

間を過ぎました。将来の鬼北町を担う人材として頑張って頂きたいと思いました。

その他まだまだ報告したい事はありますが、議長としての約2年忙しい中ではありましたが、充実した時を過ごせたことに感謝いたします。まだまだこれからも町民目線で議論して行きたいと思っております。



〈NHKホールにて〉

町民の声

芝 慶三



令和2年8月に鬼北町の人口が1万人を切りました。衝撃でした。

令和3年3月に策定された「第2期鬼北町人口ビジョン・総合戦略」で2060年の推定人口は3610人となっていてます。かなり寂しい数字です。この数字に25%上積みして2060年の

目標人口を約4513人としています。これでも寂しい。そしてその年、106歳になる私はたぶん町民に数えられていないこともなお寂しい。

出生率が上がれば人口は増えます。それには若い世代が働けて、結婚でき、子育てできる環境が必要です。たとえば、企業誘致、医療環境や買い物施設の充実。そして、減税、保育料・授業料・給食費・医療費の完全無料化などを実現することです。

ただ、これで十分とは言えません。お気付きの通り、このような方策のほとんどは財源があればどの市町村でもできることです。結局、鬼北町に魅力がないのだめということになります。

その魅力の一つは鬼ではないかと思えます。なにせ魅力の魅は鬼からきていますから。現に鬼の町づくりは町を挙げて進行中です。そこで私も少し鬼の町づくりを妄想してみました。以下ご笑読いただければ幸いです。

まず、既存のグッズを使って町を知り

興味を持つてもらいます。

鬼の造形大賞の入選作品を街頭や保育所、学校、企業等に展示してもらって鬼の町をアピールします。要望に応じ本体あるいはレプリカを販売します。ゆくゆくは一家に一鬼になればどこに行っても鬼だらけ。余談ですが、うちの玄関には赤鬼がおります。

鬼丸丸の絵本が2015年に出版されています。アニメにしてアニメコンテストに応募すれば話題になるかもしれません。

新しい発想や発信も必要です。

レーモンド松屋さんをお願いして歌を作ります。「鬼丸丸ブルース(仮題)」と「柚鬼姫慕情(仮題)」。有線放送にみんなでリクエストして一度でも流れればしめたものです。ついでに「鬼丸丸音頭」も作ってもらえばいろいろ使い道があると思います。

先の街頭の鬼の一つに鬼灯を持たせませう。鬼灯の花言葉の中に「私を誘って」というのを見つけました。そこで片想い

の男女がこの鬼に思いを託した鬼灯を供えると相手が振り向いてくれるという伝説を創ります。片想いの聖地になるかもしれないません。食用鬼灯の宣伝にもなりません。

最後の妄想は、日吉産地の柚鬼姫をご祭神として柚鬼姫神社とします。「家内安全」「安産」「恋愛成就」等々の全能の女神です。その小さな分社をJR近永駅の敷地内にも作ります。分社にどなたかが提案されていた「鬼くじ」を置きま

す。鬼くじを鬼灯の形にすれば片想いの聖地と食用鬼灯との相乗効果も見込めます。



© 海洋堂 / 鬼北町

「住民懇談会」を終えて

芝 照雄

令和4年8月2日に近永公民館2階講堂で「近永駅のあり方を考える」と題して地区住民の皆さんと懇談会を開催いたしました。

コロナ禍の中、たくさんの人に来ていただき感染症対策を行いながらいろいろな意見を聞く機会になりました。

初めに、企画振興課から「近永駅周辺賑わい創出事業について話があり、議会からは、6月の令和4年第2回鬼北町議会定例会の議案の「令和4年度一般会計補正予算第1号」の否決についてと「JR四国予土線の維持存続について」の研究報告を行い、それぞれについて質疑応答の時間を設けて会議を進める中、やはり住民の方の関心は議案の否決問題にあり、議員一人一人の考え方を問いただされて、議員もそれぞれの考え方を住民の皆さんに説明を行いました。

今回の住民懇談会を経て感じたことは、住民の皆さんと、議員の方々との意見は違えども地域への思い入れ、鬼北町への思い入れは一諸だということに気が付きました。また今後も色々な形にして住民の皆様と触れ合う場を設けて、鬼北町の未来を子どもたちや孫たちに誇れる形に持って行ければと思います。

最後に、参加していただいた皆様に感謝申し上げます。



〈近永公民館にて〉

中学生の議会見学会の開催について

赤松 俊二

11月30日午後2時から鬼北町議会議場で広見中学校3年生、日吉中学校生及び教職員を招き模擬議会を開催し、鬼北町議会の役割や仕組みを知っていただき理解を深めてもらいました。

開会に先立ち芝議長から「全国的に町村議会の議員不足等の状況を話し、議会に対する理解を深めていただき将来の議員候補になっていただきたい」と挨拶がありました。

まず、各議員が自己紹介を行い、次に事務局長から、町議会の仕組みについて資料を基に説明を行いました。その後それぞれの理事者及び担当課長等の役割に分かれ、定例議会における一般質問及び議案審議の様子を再現いたしました。



〈鬼北町議場にて〉

一般質問では「学校給食費の無償化について」の答弁で、教育長に扮した議員から答弁を行い、現状の給食費の経費の内容及び町の補助の状況を説明し、給食費無償化のための課題と財政支出を説明し、理解を求める答弁を行いました。

次に、議案第1号として「鬼北町ネット・ゲーム依存症対策条例の制定について」と題して、提案理由の説明、議案に対する質疑、反対及び賛成討論、採決と審議を行い、採決の結果否決されるという本番さながらの議会の審議状況を再現いたしました。

つづいて、議案第2号として「令和4年度鬼北町一般会計補正予算について」提案理由の説明と、担当課長による予算内容の詳細説明が行われ、議員からの質問及び理事者からの説明を行い、議会で予算案が審議され予算が決定されるまでの一連の流れを理解いただきました。その後中学生から、鬼北町に対する要望等の意見をいただきました。

広見中学校生徒からは、「普段に自由に使える広場等の遊べる場所が欲しい」という意見があり、議会でも屋根付きドームなどの提案をしたことがあり、今後も地域の要望と合わせ町に対して提案をしていきたいと回答し理解を得ました。

また、日吉中学生徒からは、「若者が地域に残れる対策はないか」と質問があり、議会としても大変難しい永遠のテーマであるが、若者が残りたいと思える地域を目指したいと答えました。

全体を通し、中学生からは議会に対する理解ができ、これから大人になるにつれ自分の考えをしっかりと持ち、政治にも関心を持っていきたいと思う。貴重な体験をさせていただきありがとうございましたと、感想をもらいました。

議 会 活 動 報 告

鬼北町議会

令和4年1月1日～令和4年12月31日

月 日	会 議 事 項	主 な 協 議 内 容	
1	1 1	第1回議会運営委員会 第1回鬼北町議会臨時会	第1回臨時会の運営について 議案1件、承認1件
	2 0	第1回全員協議会	近永駅周辺事業等現地視察調査について 他
		広報委員会	議会だよりの記事の校正について 他
2	9	第2回議会運営委員会 第2回鬼北町議会臨時会	第2回臨時会の運営について 議案2件、同意2件
		第2回全員協議会	近永駅改築について 他
		広報委員会	議会だよりの原稿の校正について 他
3	1	第3回議会運営委員会 第3回全員協議会	第1回定例会の運営について 第1回鬼北町議会定例会について 他
		広報委員会	議会だよりの初稿の校正について 他
	8	第1回鬼北町議会定例会（1日目）	議案29件、同意1件
	9	第1回鬼北町議会定例会（2日目）	
		第4回議会運営委員会	第1回定例会の運営について
	1 0	予算常任委員会（総務産業建設部門）	令和4年度当初予算審議
	1 1	予算常任委員会（厚生文教部門）	令和4年度当初予算審議
	2 3	第5回議会運営委員会	第1回定例会の運営について
		第1回鬼北町議会定例会（最終日）	
4	2 7	第4回全員協議会	北宇和高校教育寮について 他
		広報委員会	議会だよりの掲載記事について 他
5	3 0	常任委員会合同視察研修（～6月1日）	東京都
6	9	第6回議会運営委員会 第5回全員協議会	第2回定例会の運営について 統合保育所について 他
	1 4	第6回全員協議会	近永駅改築について 他
	1 6	第2回鬼北町議会定例会	議案5件、承認3件、同意1件
		広報委員会	議会だよりの掲載記事について 他
	2 1	第7回議会運営委員会 第3回鬼北町議会臨時会	第3回臨時会の運営について 議案1件
		第7回全員協議会	令和4年度鬼北町一般会計補正予算（第1号）否決に係る新聞報道発言について 他
7	1 3	第8回議会運営委員会 第4回鬼北町議会臨時会	第4回臨時会の運営について 議案1件
		第8回全員協議会	し尿及び浄化槽汚泥の収集運搬業務について 他
8	2	「近永駅のあり方を考える」住民懇談会	
	5	第9回議会運営委員会 第5回鬼北町議会臨時会	第5回臨時会の運営について 議案3件
		第9回全員協議会	「近永駅のあり方を考える」住民懇談会について 他
	1 8	第10回全員協議会	近永駅改築について 他
3 1	第11回全員協議会	北宇和高校教育寮新築工事について 他	

9	5	第10回議会運営委員会	第3回定例会の運営について
		第12回全員協議会	第3回鬼北町議会定例会について 他
	1 2	第3回鬼北町議会定例会（1日目）	議案20件、同意1件、諮問1件
	1 6	総務産業建設常任委員会	鬼北町道路線の廃止・認定について
	2 2	第11回議会運営委員会	第3回定例会（最終日）の運営について
		第3回鬼北町議会定例会（最終日）	
		第13回全員協議会	町立北宇和病院の病床について 他
		鬼北町議会議員研修会	「地方にもやってきた観光の波とその準備」
1 0	1 9	第12回議会運営委員会	議会改革特別委員会の設置について 他
		第14回全員協議会	ジビエ施設整備について 他
1 1	4	第13回議会運営委員会	第6回臨時会の運営について
		第6回鬼北町議会臨時会	承認1件、議案1件
	2 4	第14回議会運営委員会	第7回臨時会の運営について
		第7回鬼北町議会臨時会	議案5件
		第15回全員協議会	中学生の議会見学会について 他
	3 0	第15回議会運営委員会	第4回定例会の運営について
		中学生の議会見学会	
第16回全員協議会		議会改革特別委員会の設置及び委員の選任について 他	
1 2	8	第4回鬼北町議会定例会	議案18件、同意1件、発議1件
	9	広報委員会	議会だよりの記事の編集について 他
	2 6	広報委員会	議会だよりの記事の校正について 他

常任委員会合同視察研修

去る令和4年6月1日、東京都において、「JR四国予土線の維持存続について」をテーマに議員8名が視察調査及び研修を行いました。

東京都千代田区衆議院第二会館で国土交通省鉄道局鉄道事業化JR担当室職員3名から主に「JR四国に対する国の支援と今後の計画」及び「赤字ローカル線の沿線自治体が鉄道を核とした公共交通体系を将来にわたって維持するための取り組み」について、講義を受けました。



〈国会議事堂前〉

国土交通省では、「鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会」を設置し、鉄道事業者と沿線地域が危機認識を共有し、相互に協力・協働しながら、輸送サービスの刷新に取り組むことを可能とする政策のあり方等について、議論・検討しており、今年夏までに結論を得て予算に反映していくとのことでありました。

最後に講師から、今まさに鉄道事業者と地域沿線自治体が地域にとって最適な公共交通のあり方を議論してほしいと要望がありました。



議会を傍聴しませんか

※ 鬼北町の定例会は3月、6月、9月、12月です。町の定時放送で日時をお知らせしていますので、町民の皆様の傍聴をお待ちしています。(ケーブルテレビでも中継放送されています。)



広報委員会

- 委員長 山本博士
- 副委員長 高橋聖子
- 委員 坂本一仁
- 委員 赤松俊二

《議会改革特別委員会設置》

12月8日第4回定例会におきまして、「議会改革特別委員会」設置が承認されました。

議員定数、議員報酬、議会活性化に関する調査研究をしてまいります。

委員は次の6名です。

委員長	程内 覺
副委員長	松浦 司
委員	兵頭 稔
委員	高橋聖子
委員	末廣 啓
委員	赤松俊二

編集後記

今回の議会だよりでも、お二人の方をご紹介させて頂いております。ご協力を頂き大変感謝しております。今回の議会だよりでは、町内の中学生を対象にした模擬議会見学会を掲載しておりますが、見学会は町議会が提案し、日吉中の全校生徒と広見中の3年生、計約70人が参加をして頂きました。

議場では、議員12名が理事者役と議員役に分かれ、「鬼北町ネット・ゲーム依存症対策条例」と「一般会計補正予算」の2議案について、本番さながらの質疑や討論を行い、代表生徒10人も参加し、条例案は否決されました。

短い時間ではありましたが、町議会の役割や仕組みを少しでも学んで頂けたら幸いです。これを機会に政治に関心を持ち、満18才になりましたら、是非選挙には参加をし、将来興味のある方は町議会議員として、鬼北町の皆様のために頑張って頂ければと願っています。

広報委員長 山本博士